

令和6年度 2学期始業式 校長講話

おはようございます。長く続いた夏季休業が終わりました。

連日の暑さの中、オリンピック・高校野球などに目を向けているとあっという間に過ぎた休みだったという人もいるでしょう。

この夏休みに、多くの生徒が地域のイベント・清掃活動などの行事に参加してくれました。これらは、三木北高校がこれまで大切にしてきた取組でもあります。地域の方からの感謝のことばをたくさん頂きました。本当にご苦労様でした。そして、この後表彰しますが、暑い中、部活動で頑張って素晴らしい成果を残してくれました。ご苦労様でした。

さて、休み前には、これまでの生活の振り返りをしようという話をさせてもらいましたが、どうでしょう？ 振り返ってみることができましたか。

振り返ったことを、文字に残す・言葉で表明することは自分の成長にとっても大切なことなので度々お話をしています。

2学期は、1学期の振り返りをもとに実行に移していく時です。まだ振り返りができていない人も、「今学期から、これだけはやり遂げたい」という決意をもって何かに臨んで欲しいと思います。

3年生の皆さんにとっては進路を決定するための力をつけていく時期です。これまで、長くクラス担任として生徒に関わってきた中で、どれだけ先生が注意やアドバイスをしても効果がなかった人も、その人自身が本気になれば驚くほどの成長を遂げてきた例をいくつも思い出します。自分の中に“ブレ”ない芯をもって頑張りたいと思います。

2年生の皆さんは、3年生が卒業後の進路にそれぞれ進んでいく中、学校の中心として頼れる存在になって欲しいと思います。一人一人がクラスやクラブ、学校といった集団の一員であることを意識して、「自ら考え、行動を選択して、責任ある存在」として、より成長してくれることを望んでいます。このような気持ちでまとまることで来年の修学旅行もきっと良い行事になると思います。

1年生の皆さんは、1学期は中学校と高校の学習のギャップに迷いを感じながら過ごしたことでしょう。2学期は、本格的に高等学校の学習に臨むために、より主体的に学習に取り組み、日ごろの地道な努力を大切にして欲しいと思います。すぐには努力による結果を実感できなくても決して諦めないことです。

どの学年の皆さんも、迷いや不安が生じることはあると思います。三木北高校の先生方は、皆さんのために色々なアドバイスを送ってくれる先生方です。自分の中にため込まず、率直に語りかけるようにして欲しいと思います。

皆さんが元気で学校生活を送ることを願って2学期はじめの講話とします。

令和6年9月2日

県立三木北高等学校 校長 吉田 真治

